

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.33(2025. 6月)

社会科同好会編②「被爆・戦後80年特別企画 戦争体験を受け継ぐスタート集会」

2025年6月8日(日)午後、明治大学(駿河台キャンパス)リバティタワー内の教室で開催された「被爆・戦後80年特別企画 戦争体験を受け継ぐスタート集会」に、生徒8名、教員2名が参加しました。被爆を描いた映画「人間をかえせ」を観たあと、明治大学文学部教授・山田朗氏の講演「戦争体験を受け継ぐとはどんなことだろう」を聞き、参加した他校の中高生たちとグループに分かれて感想交流をおこないました。



以下、参加した生徒の感想を紹介します。

- ◆今回上映された映画のような凄惨な光景を目にしたこともありませんでした。今まで個人的に戦争について学んでいました。しかし、今回の集会で自分はまだまだ甘かったのだと痛感させられました。また、山田先生のお話では、スペイン風邪のような「戦争が引きおこす二次災害」についての話題が特に印象に残りました。「戦争の結果」だけを見て学ぶのではなく、「どのような経緯をたどっていたのか」を学ぶことが、戦争のことをより正しく知る上で大切なんだと感じました。
- ◆映画を見て、途中で目をつぶつてしまいたいほど怖くて、でも当時を生きている人からしたら、怖さのベクトルも全然違うだろうし、ここで目をそらすわけにはいかないと思い、見終わることができた。あれが現実だと思いたくもないし、思うこともできない。私達1つひとつの選択によって未来が少しずつ変わっていくと思う。まずは自分の中に知識を植えつけて、自分にできることをしていきたい。同世代との意見交換をして、自分の考えがさらに広がった。また、他の人の体験を聞くことができ、とても充実した時間を過ごすことができた。
- ◆映画を見た率直な感想を言うと、正直グロかったし気持ち悪いと思ってしまいました。こんな映画を二度と生み出さないように戦争は絶対起こらないでほしいと思いました。
- ◆原爆の映画を見て、被爆者のリアルを知ってとても心が痛くなった。生き残ることができても、「死んでしまいたい、殺してほしい」と思わせてしまう原爆は恐ろしいものだと改めて感じた。平和のために私達ができることは、まず知ること。それを後世に伝えていくことはある意味義務であると思うため、今日の体験を周りに報告していきたい。貴重な体験をありがとうございました。
- ◆有意義な意見交換が出来たと思う。実際に「人間をかえせ」のような映像を見たのは初めてで、言葉が出なかった。意見交流を通して真実を見ようとする気持ち、見る目を持つことが重要だと思った。そもそもこのような集い自体、興味が無ければ来ることがないという声を聞いて、敷居が高くなってしまっているのかと思った。自分も歴史の一員としての自覚を持ち、バトンをつないでいきたい。
- ◆チームで話しているときにニュースをまとめている人を見つけました。しかも同じ2年だったので、驚きました。自分ももっとニュースを見ないと、と思いました。映像はこれまで見たことがないくらいリアルで心が痛くなりました。もっと多くの人に知ってほしいし、同じことをとにかくくり返さないよう自分も行動できる人になりたい。
- ◆今まで、自分ひとりや自分の学校の生徒では考えたこともない視点から物事を語れて、様々な学校の生徒が集まってならではの話し合いができた。自分が興味のなかった事柄についても、人の意見を聞いて非常に楽しかった。